

Trend25005. 車両の没入感技術トレンド

Trend News

車両の没入感技術トレンド

エンタメ空間と直感運転

特許トレンド

動向;車両に「没入感」を追求する傾向!

「車両 × 没入感」の特許母集団によるグラフで説明。

グラフ1

- 近年増加傾向が見て取れます。

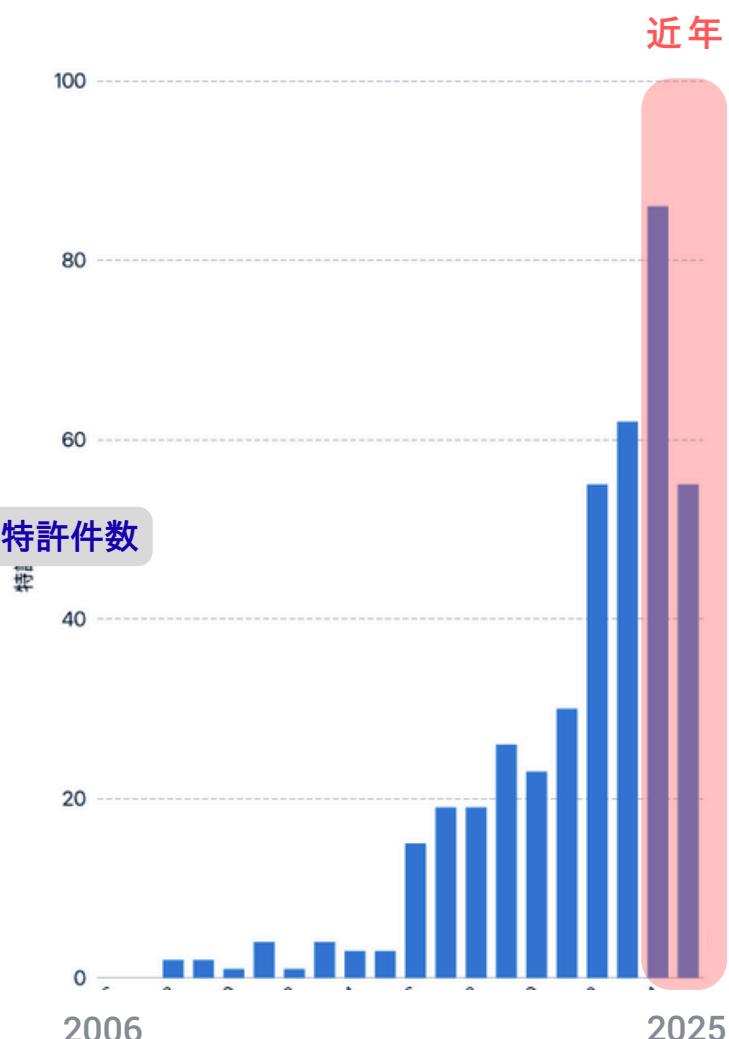
グラフ2

- 出願企業の多くがGEELYなど、中国自動車メーカー
- 日本企業は、少ない。ホンダなど2社だけ。

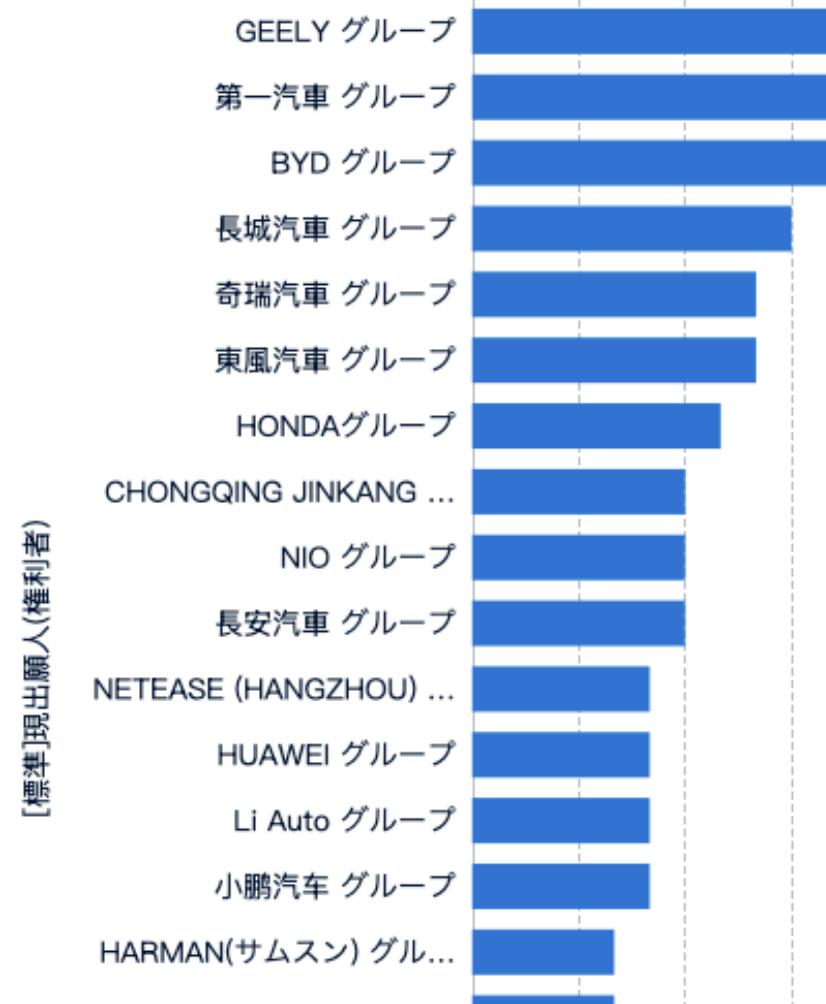
なぜ没入感を追求しているのか、本当に実現できるのか?

調査しました。詳細はこの後ご説明します。

グラフ1



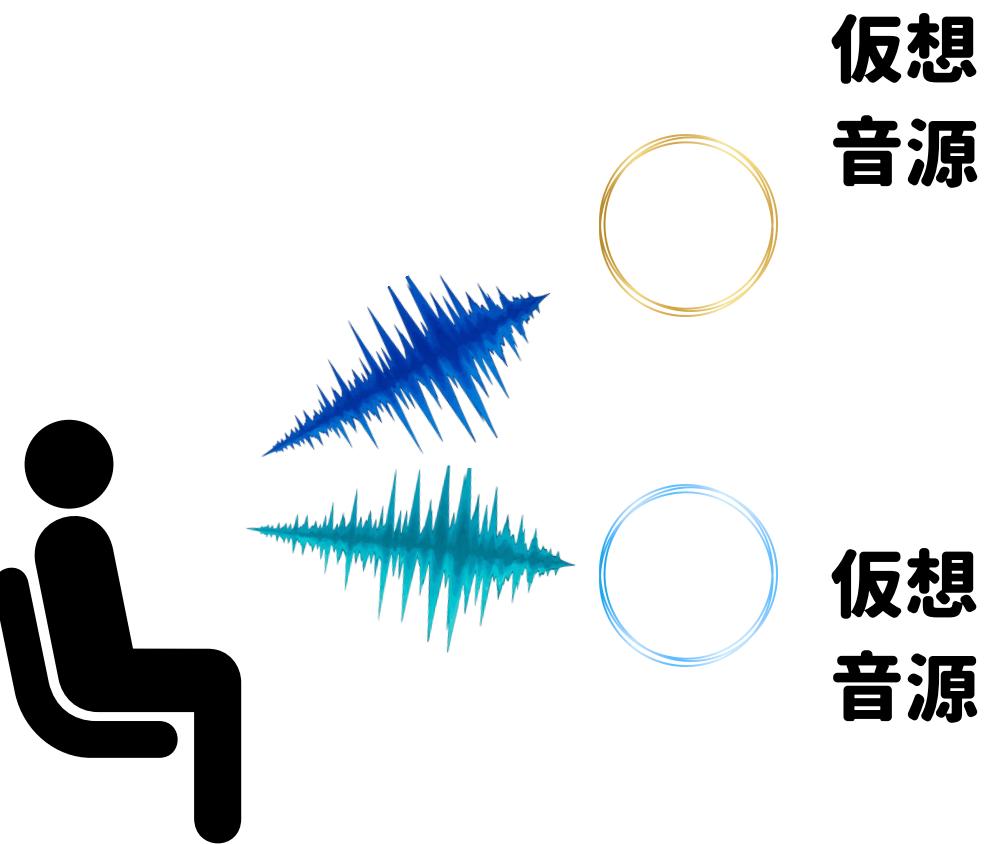
グラフ2



事例(1)奇瑞汽車の没入感技術

中国自動車メーカーの奇瑞汽車は、車内の乗客数や座席位置、姿勢情報などを圧力センサやカメラで取得し、再生中のコンテンツタイプ（オーディオ・ビデオ・ゲーム）に応じて、各乗員ごとに理想的な音響空間を作り出す没入感技術を開発しています。

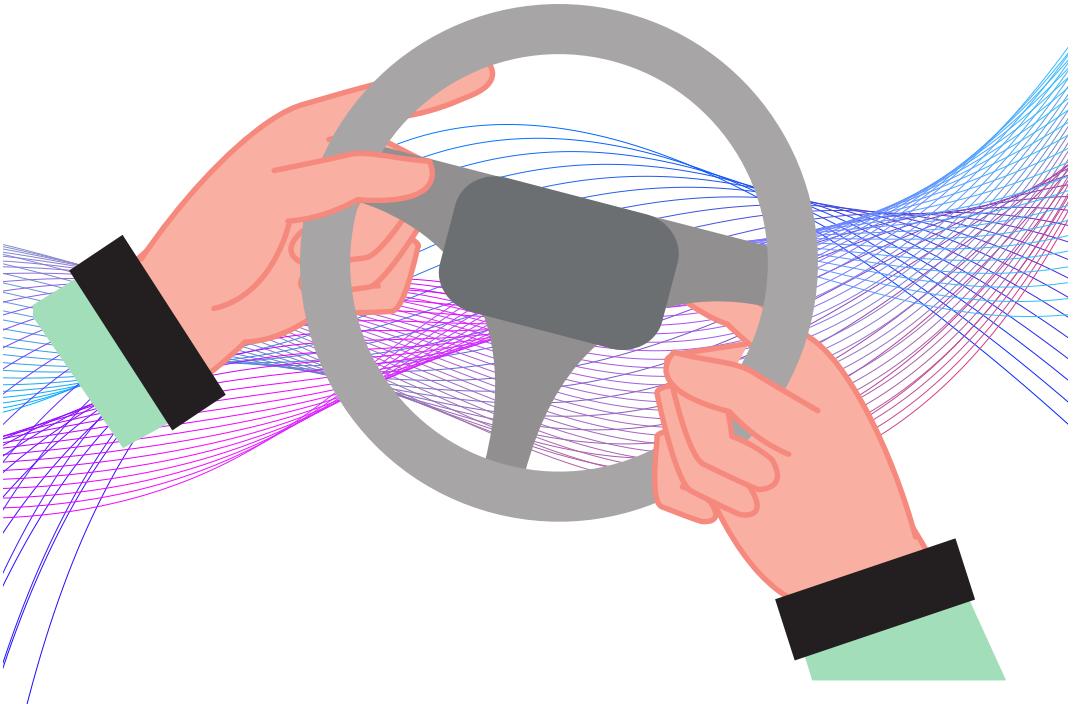
各スピーカーを協調制御し、乗員ごとに最適な方向に仮想音源を構築することで、それぞれの体験を向上させます。



事例(2) GEELYの没入感技術

臨場感のある運転体験の実現に向けて

GEELYの技術では、運転中にハンドルやアクセルなどの操作信号を検知し、それらに合わせて音楽の音響効果を変化させます。これにより、ドライバーは運転状況の変化を聴覚からも把握でき、臨場感のある運転体験が可能です。



未来

没入型技術で、直感的な運転操作の実現へ

車載没入感技術の開発が進んでいます。

運転体験に臨場感をもたせ、安全性と移動の楽しさ向上を目指す技術です。

今後も特許調査を継続します。



【PR】

アナリスリサーチ株式会社

ailab@pat-analysis.com

■販売中



■受付中；カスタマイズ対応

- ご希望のテーマに合わせた技術構想支援資料の作成も承っています。
- ご要望がありましたら、お気軽にお知らせください。